

こころの便り

第279号
令和5年6月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八十二
株式会社新宮運送グループ
代表/木南 一志
kiminami@shinagu.co.jp
電話 079-11-7511 212



新宮運送ホームページ

オオキンケイギク

春から夏にかけて黄色い花を咲かせるオオキンケイギクは特定外来生物に指定されていて駆除の対象になっています。全く知識のなかったころ、キバナコスモスと勘違いしてキレイだから増やせないかと考えたりしていました。名前を調べるうちに駆除しないとイケないことを知り、数年かけて刈払い機で減らしてきました。昨年、河川工事が行われるとのことで、長年にわたり堤部分と川の斜面の草刈りをしてきましたが、いよいよ大きく変わると期待するも一部のみの工事で、間が空いてしまったのでまた広がり始めました。

朝ドラ「らんまん」で植物学者の牧野富太郎が取り上げられて、新宮町出身の大上宇一も登場しました。弊社会長の生まれた村で実家からも近いところで天然記念物コヤスノキを発見されて、牧野富太郎博士が訪ねてきたという記録があります。貧しい生まれでありながらも地元にとどまり、明治から大正の時代に植物や貝を熱心に研究して、その名を馳せた地元の偉人でもあります。私の曾祖父が養蚕をしていたと聞いていますが、もしかすると一緒に地元を盛り上げるために働いていたのかもしれない。

外来種が地元の品種を壊滅させていくという様子を知るにつけ、現在の日本と同じではな

いかと感じるところがありました。トラックドライバーが不足しているから、海外のドライバを働けるようにと、動いているそうです。以前からある技能実習生という名称で外国人を指導して技能を身につけさせるという実習制度ではなく、熟練した外国人の「特定技能」を生かして受け容れていくという制度が始まります。もはや、日本は外国になってしま

うのではないかと危惧します。開かれた国としての制度は、まず自分の国がどのように成り立ち、お互いが助け合う「和の国・ニッポン」という明確な柱である憲法をつくるのが先決です。足下の実行もせず、口先ばかり先行する行政や政治が、国を貶めていく方向へと進んでいます。

永い年月をかけて日本人が大切にしてきたことをお互いが見つけ出して伝えていきましよう。できることはすぐそこにあります。あ

りがとうの一言を添えて、ちよつとしたことを実行することで日本らしさが残っていくのです。世界で最も古い神話からの歴史を今も受け

継いでいる、笑顔とありがとうで支えあつてきた良い国なのですから。

被災地にこころを寄せながら
木南 一志 拝

尋常小學校國史 上巻

第六 仁徳天皇

高民をめぐ
みたまよふ

人民をよるこ
びて皇居を
造りたてたま

農業をす
めたまよふ

第六十仁徳天皇は應神天皇の御子にして、御なさけ深く、常に人民をあはれみたまへり。天皇は都を難波にさだめたまひしが、皇居はきはめて質素なる御つくりなりき。天皇ある日、高き御殿にのぼりて、四方をのぞみたまひしに、村々より立つかまどの煙少かりしかば、かくかまどの煙の少きは、五穀みのらずして、食物の足らざるためならん。都近きところすらかくの如くなれば、遠き國々にては、人々いかに苦しみ居るならんとおぼしめし、勅して、三年の間税ををさむることを免じたまへり。されば皇居はしだいにあれ損ずれども、御心にもかけたまはず、御衣すら新にはつくらしめたまはざりき。そのうち豊年うちつゞきて、人民皆ゆたかになり、村々の煙も盛に立ちのぼりたれば、天皇これを見たまひて、人民の富めるをよるこびたまひ、われすてに富めり。と仰せられたり。人民は皇居のあれ損したるを、つたへ聞き、税ををさめ、又新に皇居を造りたてまつらんことを願ひ出でたれども、天皇は之をゆるしたまはざりき。されどなほしきりに願ひたてまつりたれば、さらに三年の後に至り、はじめて御ゆるしありたり。人民よろこびいさみて、われさきにとはせ集り、日夜工事にはげみしかば、皇居たちまちうるはしくできあがり。



仁徳天皇の民の煙のどまかのをみたまふ

天皇はなほ人民のためをはかりたまひ、堤をきづかせ、池をほらせなどして、農業をすゝめたまひしかば、人々皆ふかく天皇の御恩に感じたてまつり、おのゝく、其の業をたのしみて、世の中よくをさまれり。